

資料1 令和4年度第2回地域包括支援センター運営協議会の報告について			
ページ 番号	資料内容	意見内容	回答
全般	地域包括支援センター活動について	・市民の高齢化が進む中、基幹・3圏域共に活発な活動が行われ感謝しかありません。ただ、少ない人数での、各個人の負担が委託期間中9人の退職という数字に表れているのではと心が痛みます。次期に関しては、活動に見合う人数と予算の検討をお願いします。 ・次期委託については、顔の見える関係づくりを進めるためにも変更は私個人としては無い方がよいのでは、と思います。 ・現在の3圏域の区分けには、担当の理由があったこととは思いますが、河西にランチが必要になる等の不具合も出ているので、見直しもありではないかと思いました。	①次期委託に向けては、今回運営協議会で委員の皆さまからいただいたご意見等を基に、次期契約における適切な人員、予算について検討します。 ②高齢者や地域の皆さまへの支援を安定的に実施し、顔の見える関係づくりを進めるため契約手法について検討いたします。 ③圏域の区分けの見直しにつきましては、2024年に団塊の世代が75歳を迎えることを踏まえ、第9期・第10期のいきいきプラン策定の中で適切な時期に見直しを図ってまいります。また、河西学区へのランチ設置の案については、第3回地域包括支援センター運営協議会にて改めてご協議させていただき、ご報告させていただきたいと考えております。
資料1-2 3	令和3年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の実績報告および令和4年度事業計画について	・R3年度実績に、健康のび体操、百歳体操グループがそれぞれ73、21グループあるのは良いことだと思います。現在、各学区の自主教室、同好会には、ヨガ、フラ、太極拳やコーラス等沢山の介護予防になる学区の会館ごとの取り組みがあります。その活動現状を加えて、R4の方向性をみていくと、各学区により地域色が出てくると思います。参加者の多くが70代、80代です。 ・私の住む河西学区（川中）では、月末に民生委員さん主体の福祉部会でラジオ体操を行っています。道具不要です。また、サロンにて（もりやまプラス体操のCD）を利用しましたが、分かりやすく行いやすく好評でした。このCDの活用も良いと思います。（上半身、下半身、口、脳のトレーニングでした。）	①厚労省から介護予防に資する通いの場を類型化する考え方が示されており、特色ある通いの場の活動内容に応じて、各関係課が活動内容を把握し、情報発信等の支援に努めているところとあります。 地域包括支援センターでは、百歳体操・健康のび体操を主とした取組について、長寿政策課では、居場所づくりを主とした取組について支援を行っています。また、その他の活動については、生涯学習分野との住み分けから、教育委員会が作成している「まなびのひとこえ」や、市民協働課が作成している「もりまっち」等の冊子に掲載し、市民の皆様に情報発信に努めているところとあります。 また、各圏域地域包括支援センターでは、日常生活圏域内で活動されている地域資源の把握に努めており、市民だけではなくケアマネージャー等への情報提供も実施し、身近な地域で開催されるインフォーマルサービスとして活用していただけるよう促しています。 今後も市民の方々に介護予防に取り組んでもらえるよう、さらなる普及・啓発に努めてまいります。 ②もりやまプラス体操のDVDや市公式ユーチューブでの配信についても、介護予防教室等で広く周知しご活用いただけるよう務めてまいります。

資料2 令和3年度介護保険事業の実績報告について			
ページ 番号	資料内容	意見内容	回答
全般	全般	・高齢化が進む中、資料を拝見し、介護保険事業の大変さを実感します。守山市は施設も充実してきており、もうすぐ後期高齢者になる私にとっては嬉しいことですが、保険料の上昇とリンクする、また、2040年以降に負の遺産として次世代の市民の重荷になるのではないかと不安もよぎります。	第1号被保険者の介護保険料の算定は、原則3年ごとに見直しすることになっています。その際、中長期的な視野に立った施策の展開を図ることが必要であり、施設整備計画はもとより、サービス見込量や給付費等を推計し、算定しています。
4	高齢者および認定者の状況	認定審査会開催状況について、この中で区分変更申請件数は何件か。介護調査結果が現状に合わないと感じることがあり、区分変更申請をしました。認知症本人は質問に「何でもできるし困っていない」と答える傾向があります。認知症の方の話しを見抜く調査員のスキルアップが必要と感じますが、市としてどう対策をとっていますか。調査員の調査方法に差があると感じます。	令和3年度の変更申請の審査件数は610件です。(審査件数全体の約26%) 調査につきましては、対象者本人、ご家族に対し丁寧に聞き取りを実施しています。国が示す74項目にあてはめ実施しており、その基準は全国一律であることから、調査員によって調査方法に差が生じることのないよう、定期的にミーティングを実施し、能力の向上に努めています。
5～7	利用状況・給付状況(平成12年度～令和3年度実績)	施設サービスおよび在宅サービスの利用実績から、今後の充足見込みについて。 「老人福祉施設」について、近い将来、特養の新設が1件、増設増床が1件予定されているが、現在の待機状況と各施設の満床(または充足)の見込みについて教えてください。 「在宅サービス」について、特養の増床に伴い、在宅サービスの利用者(または老健利用者)が特養に移行することで在宅サービスに一時的に余剰が生まれることと思います。 そこで、「訪問看護・訪問介護」について、コロナ禍での外出控えと高齢者の健康管理の関心の高まりにより、利用者宅への訪問系、特に訪問看護は認知度も高まり利用実績も増加傾向で本市でも増加しています。ここ、2、3年で事業所も増えていますが、現状での充足状況を教えてください。また、今現在利用されている方が特養に移行する可能性は大きく、コロナ禍が将来的に収束していったときには実質的な需要が減少すると思えますが、適正な利用計画はどのように考えておられますか。 訪問介護については、ここ数年、新規参入の事業所がなかったように思いますが、不足感はないですか。 ※当事業所での所感では、起床後のケア～朝の送り出しの時間帯7～10時(特に8～9時)の需要が多く、送迎もヘルパーさんの都合のつく時間帯に合わせていっている場合が多い。 「通所介護」について、コロナ禍において、R1と比較して、通所介護は利用回数減少(▲5.7%)、地域密着型は利用回数増加(+6.6%)、全体は利用回数減少(▲4.5%)。コロナ禍が落ち着くと利用回数も増加すると思われるが、特養増床による利用者減少が先にくる可能性の方が高そう。事業所数で言えば、5年前と比べると減っており、新規開設は本年度オープンの1事業所くらいかと認識しているが、現状第8期の需給バランスと第9期の計画(見込み)について教えてください。 「小規模多機能」について、コロナ禍で訪看・訪介につていは、認知度も高まりその有用性がニーズに反映していっているが、小多機に関してはまだまだ後押しが足りていないと思う。在宅事業者としては、競合関係にはなるが、ショート多用户、限度額オーバー、お泊りデいの連泊などを対象に、小多機を紹介していくという方法があってもいいと思う。(小多機を説明できる人が少ないという点もありますが。) コロナ禍(イレギュラー時)における現在の需給バランスと収束後またはウイズコロナであろう第9期の需給予測が知りたい。(現状で、間に合うのか、供給過多なのか、不足しているのか。)	市内の介護老人福祉施設(広域)の待機状況について、令和4年6月時点で240人となっておりほぼ満床状態となっています。 また、令和5年度では特養の開所により、施設サービスの利用が増加し、それに対して在宅サービスの利用が減少することを見込んでいます。 訪問介護事業所については、今年度に新たに市内で開所されるなど事業所は増えており一定の事業所は確保されていると認識しております。 サービス利用にあたっては、ケアマネジャーによるアセスメントを経て適正なサービスがケアプランに基づき提供されているなか、コロナ禍においては、感染状況によっては通所介護から訪問介護への切り替えなどを必要に応じて実施されていると認識しております。 今後、第9期の介護保険事業計画の策定に向けては、今後コロナ禍の状況を踏まえ給付の見込みを計上しご議論いただく予定です。

資料3 第8期守山市高齢者福祉計画・守山市介護保険事業計画(重点的取組)の進捗状況について			
ページ 番号	資料内容	意見内容	回答
4	みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの推進	地域包括支援センター機能の充実により、事業は充実してきていると実感します。私も中部の「65歳からの生き方教室」に参加し、高齢者のニーズに合った良い事業と好感を持ちました。通いの場の増加は、担い手の増加も必須です。婦人会や老人会の減少や消滅、ボランティアの高齢化等に対抗する新しい人材育成が望まれます。滋賀口コミ情報誌「パリッシュ+」に、滋賀の学生と介護のミライを考えるプロジェクト「しがけあプロジェクト」なる記事があります。介護人材不足の助けとして、若者に今までの介護に対するイメージを改善して、「自分ごと」として捉えてもらうことを目指しているそうです。私も初めて知りました。守山市も若い力を活用する各種の取組があります。介護分野でも何かプロジェクトを立ち上げられませんか。	「しがけあ」プロジェクトは、県内の若者をターゲットに、介護への理解、関心を促進する素晴らしい取組であると考えます。今後の高齢化の進展に伴い、介護や支援が必要な高齢者の増加が見込まれる中、地域での支え合いが今まで以上に重要になります。そうした中、現在は、生活支援体制整備事業を中心に、高齢者自身も支える側となる取組を進めています。今後は、庁内関係各課と関係機関と連携を取り、高齢者のみにとどまらず、若者を含む、市民全体を巻き込んだ支え合いの地域づくりの推進に取り組んでいきたいと考えます。
5	みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの推進	認知症サポーターは年々増加しており、大変喜ばしい。ただし、その活動は日常生活の中で、できる範囲で手助けをするというサポーターの任意性に委ねていることから、キャラバンメイト等を除くと、活動に繋がっていない気がします。新オレンジプランでも謳われている様に、地域や職域等で先進的に行っている具体的な活動を紹介した「活動事例集」的なものがあれば、サポーター養成に止まらず、実効性が高まるのではと思います。	これまで、認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人やその家族を支援する「認知症サポーター」を養成してきました。現在、地域のみまも〜り〜♡カフェや圏域包括センターのオレンジカフェにおいて、認知症サポーターがボランティアとして活動中です。今後、認知症サポーターの自主的な活動をさらに一歩前進させ、地域で暮らす認知症の人やその家族の困りごとに早期に対応できる「チームオレンジ」の立ち上げに向け、ステップアップ講座の開催等の検討を進めております。また、職域サポーターには、行方不明高齢者の早期発見・保護に向けた行方不明高齢者等SOSネットワークにご協力いただいております。ご提案いただいた事例集の作成を参考に、サポーターの活動の場や活動について広く周知できるよう検討してまいります。
6	みんなで支え合う地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの推進	地域の支え合いにおけるゴミ出し支援、生活ボランティアの取り組みは、今後益々必要です。高齢で認知症状足腰が弱ることにより、毎日の生活の中でゴミ出し、草引き等できないことが増えていきます。各自治会単位でもできていって貰えるように支援して欲しいです。	生活支援体制整備事業において、学区単位で地域が主体となった生活支援等の取組が進んでいます。市においても、高齢者いきいき活動推進補助金を創設し、生活支援や健康づくり等に係る地域での主体的な活動への支援を行っており、今後も、地域での支え合い活動の促進を支援していきます。
7	高齢者と家族を支える介護体制の充実	私事ですが、認知症の進んだ家族ののためにグループホーム(認知症対応型)を5ヵ所申請し、4ヵ所満床でした。このグループホームの中の3つは看取り対応がありました。待ち2人であっても、空くには長くかかるそうです。80歳で入所しても、長寿で在所期間が長いため、あと2人待ちであつたとしても何年待つか分からない状況でした。R5に認知症対応型共同生活介護は1施設とあります。整備をすすめていってください。R5年度目標値にある、外国人介護人材確保支援事業補助金について、家賃補助の一部とあるが、具体的な金額範囲について、どれ程を想定しているのか。また、補助は、家賃のみで限定されるのか。	グループホームの整備に関しては、現在令和5年2月8日までを公募期間とし募集しているところであり、第8期介護保険事業計画に基づき整備を進めてまいります。外国人介護人材確保支援事業補助金については、補助対象経費を法人が支払った家賃の2分の1とし、1月の上限額を1万円としています。補助期間は、1人につき最大12月としております。また、補助対象経費は家賃および共益費が対象となります。
8	高齢者と家族を支える介護体制の充実	人材としては、外国の方々にも期待が高まります。言葉や細かい感情の壁をどう工夫して乗り越えていくか事業所に対してハード面での補助だけでなく、ソフト面での協力も必要かと思います。	令和4年度から「外国人介護人材確保支援事業補助金」を創設し、法人が支給する家賃補助の一部を支援しています。補助金交付を受けた事業所に対しては、多言語対応している行政情報の提供などを行っていきます。

資料4 第9期守山市高齢者福祉計画・守山市介護保険事業計画の策定に係る各種調査内容の検討について

ページ 番号	資料内容	意見内容	回答
全般	全般	全般に、「その他」欄に()で内容を記載できるように。	国が設定した項目のため、集約後に全国での比較が困難となることから、現行どおりとします。
全般	全般	各項目について、年齢等によるクロス集計をした上で、詳細な分析、検討を行い、適宜、報告していただきたいと思います。	事務局で行った集計、分析資料はすべてお示しさせていただくとともに、委員の皆様からもクロス集計の項目、必要なデータ等ご意見をいただく中、分析していきます。
全般	全般	新型コロナウイルス感染症の高齢者に対する影響がじわじわと出てきていると考えられます。原案では、一部の質問項目にコロナ関係がありますが、第9期に向けた本調査では、この点の影響が不明なだけに総括的、個別的に調査するよう構成を検討すべきだと思います。 「介護予防ニーズ調査」では、当該高齢者の体力面やメンタル面等への影響について調査すべきであり、サービス提供事業所、ケアマネに対しても直接高齢者に日々対応する事業者の目線として、同じ項目を設定して質問する必要があると思います。	ご意見のとおり、コロナの影響による、状態の変化について、ニーズ調査では、主観的な変化、サービス提供事業所調査、ケアマネジャー調査では客観的に見た変化に関する質問を追加します。
別紙2 11	ニーズ調査	問10(2)については、上記趣旨から再検討すべきです。 なお、同問の1.については、そもそも地域の活動がこの3年近くほぼできていない状況では、質問の意味がないと思われます。	選択肢1「地域の活動に参加しにくくなった。」を「地域の活動がなくなった(減った)ため、外出する機会が減った。」に変更します。 また、オンラインのつながりの利用について、使用している媒体、スマートフォンの利用に関する質問を追加しました。
別紙2 2	ニーズ調査	「(1)あなたの性別をお答えください。」の回答項目に「その他」を設ける。	ご意見のとおり修正します。
別紙2 2	ニーズ調査	独の質問が増えて、ニーズの把握がしやすくなるなっていると思う。 (問6)の介護が必要になった年齢について、①の40歳以前と⑥90歳以降は良いと思うが、②～⑤に関しては、もう少し細かくても良いのではと思う。私も今年74歳になったが、1年毎に体調は変化している。10歳単位は長すぎる。せめて5歳にしてほしい。	ご意見のとおり、修正します。
別紙2 5	ニーズ調査	「あなたが、今後運転免許証を返納することになった場合、どのような支援等が必要だと思いますか。」の回答項目に「路線バスの充実」を設ける。	ご意見のとおり修正します。
別紙2 6	ニーズ調査	(問4)の⑨のサービス・支援について、今は⑮の特になしの方でも、将来的には利用したいサービスもあると思うので、その質問も欲しい。私も今は⑮だが、将来は2・4・5・7等いくつか利用したいと思う。	設問の主旨として、将来的な意向も含んでいることから、現行どおりとします。
別紙2 8	ニーズ調査	「あなたご自身がご近所で手助けや協力ができることがありますか。」の回答項目「草むしり」を「草引き」に変更。	ご意見のとおり修正します。
別紙2 9	ニーズ調査	「どのようなことに取り組んでいますか。」の回答項目「7. …百歳体操等の通いの場への参加」を「百歳体操、のび体操等」に変更。	ご意見のとおり修正します。
別紙2 10	ニーズ調査	「11. 行方不明高齢者GPS機器購入補助」の説明を追記。	GPS購入補助に加えて、認知症個人賠償責任保険の説明を追記します。

別紙2 10	ニーズ調査	「介護予防・日常生活圏ニーズ調査項目(案)一覧」の「問8 (2)」の選択肢「2.物忘れとは異なる」を「老化に「伴う物忘れとは異なる」または「単なる物忘れとは異なる」にする。 択肢「5…認知症状…」を「…認知症の症状…」にする。 臨床の状況では、最近無くなっていた、介護破綻ケースの受診が増えています。住民啓発のサードの徹底が必要と考えます。また、基幹とランチの連携の徹底、介護破綻ケースの発見後のフォローの基幹とランチの連携の徹底が必要と考えます。	・アンケート調査記載事項については、ご意見のとおり修正します。 ・施策面では、ご意見を踏まえ、認知症施策に必要な視点、取組等を検討、記載してまいります。
別紙2 11	ニーズ調査	「(2)新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動に変化はありましたか。」の回答項目「3. 遠隔(オンライン)でのつながりを利用するようになった」に「どのようなソフトを使用しているか」を追記。	オンラインのつながりの利用について、使用している媒体、スマートフォンの利用に関する質問を追加しました。
別紙2 14	ニーズ調査	「(5)最後に、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。」の回答欄にラインを引く	ご意見のとおり修正します。
別紙4 6	サービス提供事業所アンケート調査	サービス事業所アンケートについて、事業所運営については、近年のコロナ影響・ウクライナ情勢・原油価格高騰・最低賃金のUPなど踏まえ、物価高騰の煽りが懸念される中、収支実態として影響が出ているか。また、利用者自費負担額分(自費サービスや食費等)に対して価格変更を行ったかなどの項目を調査しても良いのではないかと。光熱費やガソリンへの補助を検討する指標にしても良いのではないかと。	問8の次に「コロナ、物価高騰等社会情勢の変化による影響について」の質問を追加し、選択肢を①悪化した ②変わりはない ③よくなった。を設けます。その次に、社会情勢の変化により、実費負担分の価格の変更を行ったかどうかを聞く質問を追加します。
別紙6 3	ケアマネジャーアンケート調査	ケアマネジャーアンケートについて、問11については、ナンセンスな問いである。はっきりと言うなれば、削除していただきたい。 回答1および2は当然のごとく、回答3は最優先にすべきを限定すべきではない。回答4は抱え込みを示唆する。回答5はパターン化されたプランの推奨か。 記載するなれば、利用者のニーズと社会資源との調整に努めているか。利用者のもてる潜在的な力(個人のストレングス)を視野にいれたプランの作成に努めているか。フォーマル・インフォーマルな資源とニーズを結びつけるマネジメントが行えているか。ニーズに対する合意形成が行えているか等。	当該質問は削除し、問13-1の選択肢に「インフォーマルサービスの情報が不足している。」を追加します。
別紙6 3	ケアマネジャーアンケート調査	問13について、AIケアプランについてを追記。事業所間連携システムについての追記。(R5.4～開始。)	ご意見のとおり追記します。
別紙7 1	在宅介護実態調査	(問5)主な介護者の年齢の選択 1.20歳未満とあるが、今ヤングケアラーが問題になっている義務教育中の小中学生15歳とそれ以上20歳の2種類あると実態が分かりやすいのではないかと。	国が設定した項目のため、集約後に全国での比較が困難となることから、現行どおりとします。
別紙6 8	ケアマネジャーアンケート調査	「問30 地域包括支援センターに機能強化してほしいと思うことは何ですか。」の回答項目「8. 民生委員・児童委員との連携強化」に「自治会長」を追記。	地域とのつながりという視点から自治会を追記します。
別紙6 9	ケアマネジャーアンケート調査	「問31 以下の関係機関等と連携を取っていますか。」の回答番号⑤に「自治会長」を追記。	地域とのつながりという視点から自治会を追記します。
別紙7 1	在宅介護実態調査	「問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)」の回答項目に「月1回程度」を追記。	国が設定した項目のため、集約後に全国での比較が困難となることから、現行どおりとします。
別紙7 1	在宅介護実態調査	「問4 主な介護者の方の性別について、ご回答くださいの回答項目に「その他」を追記。	国が設定した項目のため、集約後に全国での比較が困難となることから、現行どおりとします。
別紙7 5	在宅介護実態調査	「問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか」の回答項目を「1.… 2.… 3.わからない 4.その他」にする。	国が設定した項目のため、集約後に全国での比較が困難となることから、現行どおりとします。

参考 第9期守山市高齢者福祉計画・守山市介護保険事業計画の方向性について

ページ 番号	資料内容	意見内容	回答
参考資料 2	第9期守山市高齢者福祉計画・守山市介護保険事業計画の方向性について 重点ポイント	(重点ポイント1) 自宅と介護施設の中間的な住まい方とは、具体的にそのようなものか。 (重点ポイント4) 有償ボランティア制度は是非考えていただきたい。その場合、ボランティア保険等の整備をお願いします。	・サービス付き高齢者向け住宅等のバリアフリー設計で安否確認等の生活支援サービス等の高齢者の多様なニーズに対応した賃貸住宅の整備等が想定されています。 ・有償ボランティア制度については、市のボランティア活動の状況を把握する中で、必要に応じ検討を行います。なお、保険についても必要な支援を考える中で、検討します。
参考資料 2	第9期守山市高齢者福祉計画・守山市介護保険事業計画の方向性について 重点ポイント	住み慣れた地域で、介護のお世話にならず、できる限り元気で…。は誰もが持っている思いです。今後の介護保険事業計画の中で、介護予防施策(健康年齢)の充実がより大切なことと考えます。 コロナの流行により、地域活動(自治会)はゼロに近い状態になりました。コロナ以前の活動に戻すことが難しいと考えます。 高齢者の社会参加ができる地域活動、有償ボランティア制度の活用等、介護予防の充実に期待をしています。	ウィズコロナ、ポストコロナを見据え、アンケート調査、第8期計画の評価等により、現状の課題、ニーズ等を把握する中、高齢になっても安心して守山で暮らし続けられるよう、第9期計画策定に向けて、目指す方向性、必要な施策等を検討します。